市議会議員
白石えつ子



東村山・生活者ネットワーク
「誰のいのちも大切にされるまちづくりを」
東村山・生活者ネットワークニュース通信 vol.161
発行日/2026年11月10日　発行/東村山・生活者ネットワーク　発行責任者/朝倉順子
〒189-0013 東村山市栄町2-19-3 森田ビル201　TEL&FAX 042-392-7677
hmy.net@hyper.ocn.ne.jp　https://hmy.seikatsusha.me/

# 原発依存からの脱却！

東京電力福島第一原子力発電所に対する「原子力緊急事態宣言」は、2011年3月11日の発令以降、現在も解除されず継続中であることを忘れずにいたい！
「原子力 正しい理解で 豊かなくらし！ 原子力 明るい未来の エネルギー！」の標語にある安全神話は完全に崩れたにも関わらず、原発に依存する政策に戻す国の動きには異を唱えていきたい。

## 15年経過した今をここにしたためたい。
## ドキュメンタリー映画「サマショール遺言 第六章」を鑑賞



「サマショール遺言 第六章」
上映と豊田直己監督のトーク に参加。
原発からの脱却を更に強くした。

豊田直巳監督からは福島第一原発事故後の混乱、その一年一年を比較し、現状の説明を受けた。酪農を諦めなければならない実情や耕作放棄地にしないための話し合いなどを重ねるが、故郷を追われたこと、放射能濃度の下がらない環境に身を置くことに躊躇う人々の存在。チェルノブイリ事故後も営農される方々に会い、「20年後の飯舘村が見えた」と涙ぐむ農業者の涙を、国はどう受け止めるのか。国の復興予算15年で42兆円。私たちの税金が注ぎ込まれている。汚染土を各都道府県にとの政策から、さいたま市、仙台市等の花壇に4000ベクレル以上の放射性物質を含んだ汚染土が実験的に使われているが、中間貯蔵施設にある汚染土総量は1400万トン。計り知れない大量の汚染物質が全国にばら撒かれようとしている事実も見過ごせない。

## ワーカーズ・コレクティブ企画
## 「福島の原発を忘れない！」に参加

高い防潮堤が海の景色を遮断し、原発事故後、今や福島県浪江町浜通り等の産業基盤を構築する国家プロジェクト「福島イノベーション・コースト構想」の拠点へ。ドローンやAIロボットなどにシフト。ゲノム編集技術や中性子ビーム照射の作物を製造。今や食べ物は「人工的に作る時代」注意が必要だ。最先端技術を駆使した無機質な建物が立ち並ぶ少し横では、積みあがった汚染土、朽ちたお社や家主不在の家々がそのまま手付かずで残る街並みが異様に映る。浪江町で生まれ育った原田洋一さんの言葉「まちは記憶の集積帯」は印象に残った。「まち再生の委員会に参加したが、もう計画が作られていて愕然とした」と。コンサルに頼らず、今を生きる浪江町の人達自らまちの良さを継承できるまちづくりを小さくても実現していくべきだ。



福島水素エネルギー研究フィールド / 再生可能エネルギーを利用してクリーンな水素が生産可能な世界初の水電解装置施設などが並んでいます。

浪江町の人口推移
2011年人口：約21500人、現在(住民登録数)：約14000人、居住者数：約2400人



福島県飯舘村長泥地区あぶくまロマンチック街道は、放射線空間線量は未だ1.350と高い数値を示す。

## “おれたちの伝承館“は 原発さえなければが随所に



未来の看板の下、牛が餌の代わりに食べた木と子牛の亡骸は、ほんとうに涙を誘う。

展示物の削られた片鱗がある木は事故後、人が立ち入り禁止となり、木を餌がわりにした牛達がかじった痕。子牛の亡骸が痛ましい。歌人である三原由紀子さんの〝ふるさとは小分けにされて 真っ黒な袋の中で 燃やされるのを待つ〟、真っ黒な袋の中に故郷があるんだと、原発技術革新が先ではないはずだ。帰還困難区域はまちを分断する形で存在し、住み慣れた故郷を追われ、避難生活を強いられている方々が居ることも、肝に銘じたい。

## 飯舘村の「までいに」〝心を込めて丁寧に〟の言葉に心底癒された

飯舘村にある古今呂（こころ）の宿主とみこさんからも、これまでの経緯を伺った。
飯舘村で生まれたオリジナル品種〝いいたて雪っ娘かぼちゃ〟で、まちおこしの活動を開始。女性が頑張る飯舘村。かあちゃんの笑顔がとうちゃんを笑顔にする。人と人を繋ぐのは食。誰もが「食べる」を通して笑顔で生き合っている姿が印象的だ。生き抜くのではなく、生き合う世の中になれば、誰もが生きやすくなる。大変な思いをされてきたのに、今を生きるみなさんに希望を、笑顔をいただいた時間でした。今後も現場の声を聴き、原発依存からの脱却と原発の終い方、脱原発、再エネ、省エネへのシステムチェンジの活動を継続します。（白石えつ子）


飯舘村にある古今呂(こころ)の宿のおもてなしが詰まった手作り弁当とかぼちゃ畑の完熟プリン。



ふるさとが詰まった汚染土。
「原発さえなければ」が、ここにも存在する。